○外務省告示第四百二十号

国際連合安全保障理事会決議第千五百三十二号に基づき設立された同理事会委員会が平成二十年十二月十九日及び平成二十一年三月三日に発出した情報に基づき、国際連合安全保障理事会決議に基づく移動の制限及び資産凍結等の措置の対象となるコンゴ民主共和国に対する武器禁輸措置等に違反した者等を指定する件（平成十七年外務省告示第千百一号、平成十九年外務省告示第二百八十一号、平成十九年外務省告示第五百九号、平成十九年外務省告示第六百七号、平成十九年外務省告示第六百七十二号及び平成二十年外務省告示第三百六十二号）の一部を次のとおり改正する。

平成二十一年八月十二日

外務大臣　中曽根弘文

追加・改正項目

平成十七年外務省告示第千百一号、平成十九年外務省告示第二百八十一号、平成十九年外務省告示第五百九号、平成十九年外務省告示第六百七号及び平成二十一年外務省告示第三百六十二号の別表中1．及び2．の旅券・人定事項（追加）、4．から8．までの旅券・人定事項（追加）、9．の旅券・人定事項（改訂）、10．の旅券・人定事項（追加）、12．の別名及び旅券・人定事項（追加）、14．の人名（改訂）及び旅券・人定事項（追加）、15．の旅券・人定事項（追加）、16．の特定情報（追加）、18．の旅券・人定事項（追加）、19．から21．までの特定情報（追加）、23．の特定情報（追加）並びに24．から27．までの全項目（追加）。

1．フランク・カコレレ・ブワンバレ
Frank Kakolele BWAMBALE
（別名）フランク・カコレレ（Frank Kakorere）、フランク・カコレレ・ブワンバレ（Frank Kakorere Bwambale）
（旅券、人定情報）2008年１月に人民防衛のための国民会議（ＣＮＤＰ）を離脱。2008年12月現在、キンシャサ在住。
（指定の根拠）ＲＣＤ―ＭＬ（コンゴ民主連合・解放運動）元指導者。国連安保理決議第1493号（2003）パラ20にいう武装集団の一つであるＲＣＤ―ＭＬの政策に影響力を行使するとともに、ＲＣＤ―ＭＬ軍の活動の指揮及び統制を維持しており、武器禁輸措置に違反する武器の不正取引について責任を負っている。

2．ジェローム・カクワヴ・ブカンデ
Jérôme KAKWAVU BUKANDE
（別名）ジェローム・カクワヴ（Jérôme Kakwavu）
（旅券、人定情報）コンゴ民主共和国国籍。「ジェローム司令官（Commandant Jérôme）」として知られる。2008年12月現在、コンゴ民主共和国国軍（ＦＡＲＤＣ）に残留し、キンシャサを拠点とする。
（指定の根拠）ＵＣＤ／ＦＡＰＣ（民主主義のためのコンゴ人連合・コンゴ人民武装勢力）元議長。ＦＡＰＣは武器流通の主要な輸送経路であるウガンダ・コンゴ民主共和国間の国境に不法に駐留。同人はＦＡＰＣ議長として武器の不正取引に関与するＦＡＰＣ軍の政策に影響力を行使するとともに指揮及び統制を維持しており、したがって武器禁輸措置に違反している。2004年12月コンゴ民主共和国国軍将軍に昇級。

4．トマ・ルバンガ
Thomas LUBANGA
（生年月日・出生地）コンゴ民主共和国イツリ
（旅券、人定情報）コンゴ民主共和国国籍。ＵＰＣ／Ｌ（コンゴ愛国同盟ルバンガ派）による人権の侵害に関与したため2005年３月よりキンシャサにて拘留。2006年３月17日、コンゴ民主共和国当局により国際刑事裁判所（ＩＣＣ）に移送された。2008年12月現在、戦争犯罪の容疑で裁判を受けている。
（指定の根拠）ＵＰＣ／Ｌ議長。ＵＰＣ／Ｌは国連安保理決議第1493号（2003）パラ20にいう武装集団及び民兵の一つであり武器禁輸措置に違反して武器の不正取引に関与。

5．カワ・パンガ・マンドロ
Khawa Panga MANDRO
（別名）カワ・パンガ（Kawa Panga）、カワ・パンガ・マンドロ（Kawa Panga Mandro）、カワ・マンドロ（Kawa Mandro）、イブ・アンドゥル・カリム（Yves Andoul Karim）、マンドロ・パンガ・カワ（Mandro Panga Kahwa）、イブ・カワ・パンガ・マンドロ（Yves Khawa Panga Mandro）
（生年月日・出生地）1973年８月20日、コンゴ民主共和国ブニア（Bunia）
（旅券、人定情報）コンゴ民主共和国国籍、「チーフ・カワ（Chief Kahwa）」、「カワ（Kawa）」として知られる。2005年10月にコンゴ民主共和国当局により逮捕され、キサンガニの上訴裁判所で無罪判決が下されたが、その後人道に対する罪、戦争犯罪、殺人、加重暴行及び殴打の新たな容疑でキンシャサの司法当局に移送される。
（指定の根拠）国連安保理決議第1493号（2003）パラ20にいう武装集団及び民兵の一つであるＰＵＳＩＣ（コンゴ統一性・領土保全党）元党首。武器禁輸措置に違反して武器の不正取引に関与。2005年４月よりイツリ和平プロセス妨害のためにブニアにおいて刑務所に留置。

6．イルタ・ドゥグラス・ムパモ
Iruta Douglas MPAMO
（別名）ムパノ（Mpano）、ドゥグラス・イルタ・ムパモ（Douglas Iruta Mpamo）
（生年月日・出生地）1965年12月28日、マシシ（Masisi）、バシャリ（Bashali）、1965年12月29日、コンゴ民主共和国（旧ザイール）ゴマ（Goma）
（旅券、人定情報）コンゴ民主共和国国籍。ゴマ及びルワンダのギセニ（Gisenyi）に本拠地を置く。ルワンダとコンゴ民主共和国との間の国境を頻繁に往来する。住所：ゴマ、カニャムハンガ（Kanyamuhanga）通り52番地。
（指定の根拠）大湖地域航空会社（Compagnie Aérienne des Grands Lacs）及び大湖地域ビジネス会社（Great Lakes Business Company：GLBC）所有者及びマネージャーであり、同社の航空機は国連安保理決議第1493号（2003）パラ20にいう武装集団及び民兵に支援を提供するために使用された。また、明らかに武器禁輸措置の違反を認めるため、航空機及び積荷に関する情報を偽装した責任がある。

7．シルベストル・ムダクムラ
Sylvestre MUDACUMURA
（旅券、人定情報）ルワンダ国籍、「ラドジャ（Radja）」、「ムペンジ・ベルナール（Mupenzi Bernard）」、「ムペンジ少将（General Major Mupenzi）」として知られる。2008年12月現在、引き続きルワンダ民主解放勢力の軍事部門（ＦＤＬＲ―ＦＯＣＡ）の軍事司令官を務める。コンゴ民主共和国マシシ郡キブア（Kibua）を拠点とする。
（指定の根拠）ＦＤＬＲ（ルワンダ解放民主勢力）の現地司令官であり、国連安保理決議第1493号（2003）パラ20にいう武装集団及び民兵の一つであるＦＤＬＲ軍の政策に影響力を行使するとともに、ＦＤＬＲの活動に指揮及び統制を維持しており、武器禁輸措置に違反して武器の不正取引に関与。

8．イグナス・ムルワナシ・アカ
Dr. Ignace MURWANASHY -AKA
（別名）イグナス（Ignace）
（生年月日・出生地）1963年５月14日ルワンダ共和国ブテラ（Butera）、ルワンダ共和国ブタレ（Butare）、ンゴマ（Ngoma）
（旅券、人定情報）ルワンダ国籍、ドイツ在住。2008年12月現在、依然としてＦＤＬＲ―ＦＯＣＡの政治部門の議長と認識される。
（指定の根拠）ＦＤＬＲ（ルワンダ解放民主勢力）議長であり、国連安保理決議第1493号（2003）パラ20にいう武装集団及び民兵の一つであるＦＤＬＲ軍の政策に影響力を行使するとともに、ＦＤＬＲの活動に指揮及び統制を維持しており、武器禁輸措置に違反して武器の不正取引に関与。